

KS KS

# かがやき

ひかり福祉会広報 vol.90

神無月号  
2014

特集

グループホームの現状と課題 2  
- 入居者の思いに寄り添い暮らしを築く -



2000年12月12日 第三種類郵便承認 每月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

2013 (平成25)年度 事業報告

## 社会福祉法人ひかり福祉社会経営委員会

◆暮らす中で 命が育つために◆  
「グループホーム」

2013年度は9ホーム（定員45名）に44名の暮らしを築いてきました。その暮らし支えるために、必要に応じて複数体制を配してサポートしてきましたが、慢性的なスタッフ不足は解消できず、特に夜間支援、土曜日のサポート体制において支障をきたすことがありました。ホームを維持するための大きな課題です。

長浜地域の「びわ・どんぐりホーム」は、地域に根づいたホームとして業務委託で運営していましたが、利用者の高齢化などの課題もあり、10年をひと区切りとして閉鎖することになりました。2014年度からは、長浜かざぐるまホームがその生活の場を引き継ぎ、暮らしの充実化に向けて新たな取り組み展開を進めています。

ホームでは、入居者の高齢化や障害の重度化がすすみ、以前にも増して介護の度合いが高くなつてきていたため、介護保険サービスと障害福祉サービス、必要に応じて医療サービスなどを効果的に活用していく必要性も欠かせなくなつてきています。今後、ホームにおける支援の度合いがますます高まつていくこと

◆ 働くこと ◆  
命は太る◆

就労移行支援事業・  
就労継続支援事業B型

ワークセンター糸では、湖北  
圏域が県内で先駆けて実施した  
養護学校卒業生の就労に向けて  
のアセスメントに取り組んでき  
ました。国の仕組みですが、障  
害者も社会の中で労働者として  
あたりまえに働くことができる  
よう、その方向性を正しく見極  
められる取り組みとしていくこ  
とを目指してきました。

就労移行支援の状況としては  
ワークセンター糸からは3名、  
HEART WORK結からも3  
名が一般就労しました。

ひかり福祉会第5次将来計画  
では、2013年度のB型事業所  
の月額平均工賃の目標を1万8  
000円に設定していましたが  
3事業所が目標を達成しました  
ひかり福祉会のB型事業所の平  
均工賃は1万5485円／月

とは想定されていてることから、  
財政状況も鑑みながら、ホーム  
への職員配置の充実に向けて具  
体化していく必要があります。  
さらに、ショートステイやホー  
ムヘルプ、日中一時支援事業な  
どの生活支援事業を推進するた  
めにも、資格保有者を確保し、  
事業推進の構想と具体化を図つ  
ていくことが課題です。

「B型事業所においては、「就労支援事業所会議」を6回開催しました。会議では、国際的な水準・視点で、障害者の就労に関する考え方を学び、B型事業所としてめざすべき方向性について意思一致を図つてきました。また、各事業所の授産状況と工賃実績の把握、ひかり福祉会の「ものづくりの基本の確認」と新商品の提案のプロセス・企画書の検討を行いました。さらに法人の顧問税理士や理事を講師に「消費税8%への対応」の学習や「共に働く中で命が太るとは」をテーマに学習を行いました。

新理事・監事紹介

去る7月12日、平成26年度第2回理事会が行われ、平成26年7月12日～28年7月11日までの任期の理事・監事が承認され、2名の役員交代がありました。理事長は、互選により、引き続き、立岡暁氏が承認されました。



淺見道朗



海藤 東子

## 2013年度は、ひかり福祉会第5次将来計画の1年目として利用者・地域のニーズに応える事業運営を進めてきました。

ようするための取り組みについて、個別事例から学び合い、実践し、法人研究集会において職員で共有することができます。2014年度も引き続き行います。

**◆誰もが命を奏でることができる地域に◆**

「相談支援事業」

障害のある人とその家族のニーズと願いに応えていくことができるよう、悩みや相談ができるよう、悩みや相談に窓口相談だけでは解決しないケースが増えてきており、働くこと（所得を得ること等）の相談と具体的な課題に対応していく支援が必要になっています。細やかな制度が不十分であつたり、制度の谷間にあり、福祉サービスはじめ企業による定着支援などニーズに十分応えられる状況になつていません。高齢・低所得・虐待・引きこもり・社会資源の不足などから、生活基盤の脆弱さを補うことが難しく、社会資源の少ない中で、家族全體の支援が必要な人たちが急増しています。障害の概念の捉え方が広がっていることにより、高次脳機能障害・難病・引きこもり状態の人若年認知症、生活困窮者の対応など従来の福祉サービスの支援対象の枠を超え

る支援の必要性が広がっています。

湖北圏域では、障害者支援センターそらとほつとステーション（出向）で、精神障害のある人の相談支援を進めてきました。湖東圏域では、働き暮らし応援センター事業をコト一支援センターが受託し、圏域における就労相談・就労支援の中心的な役割を果たしてきました。

### ◆命を耕す運動の推進と命を守る

「運動・法人経営・運営」

2013年度より、事業運営分野の会議として、就労支援事業所会議、アクティビティ事業所会議、地域生活事業所会議を開催してきました。また、機能強化分野の会議として、共育・研修委員会、地域活性化委員会、広報・情報委員会、権利擁護委員会の4つに分かれて論議をしてきました。

法人職員としての職場定着とよりよい支援を進めるためのスキルアップを常に図つていくことが求められています。そのため、人づくりの基礎となる「研修システム」も確立していくことを掲げ、法人としてめざす職員像を示していくことにしていましたが、具体的な検討ができませんでした。近年、福祉職場での人材確保の困難が言われていますが、よりよき職場となり、地域からあてにされる事業所となるために今後検討を進めていくことが課題です。

事業のあり方、収入や支出の内容の精査など、多角的に検討をしてきました。この多角的に検討してきたことをさらに総合的に検討し、法人の理念に合致したものとして具体化できるよう検討してきました。この多角的に検討してきましたが、現実に起つた場合に対応できるように更なる検討が必要です。

2015年4月1日採用

## 正規職員募集

### 【対象者】

- 新卒者  
(大学・短大・専門学校卒業見込みの者)
- 既卒者  
(大学・短大・専門学校・高卒後3年以内の者)
- 一般:(高卒以上35歳まで)

### 【職種】 就労継続・生活介護事業の支援員 相談員、居宅支援員

### 【募集人員】 4名

◇ 第2次募集締め切り: 10月18日(土)

◇ 試験日時: 10月21日(火) 9:00~

◇ 関心のある方は、ぜひご連絡ください◇

長浜市鳥羽上町68-1 ひかり園内

法人事務センター 担当: 山田・橋本

電話 0749-63-5711

# 特集

## 入居者の思いに寄り添い 暮らしを築く～仲間の笑顔は支える喜び～



平日は朝と夜、休日は朝昼夜の3度の食事作り、着替えやお風呂、トイレの介助などをしています。できることは各自でしておられます。が、全介助の方もおられます。

朝、作業所へ行く仲間を見送った後はホーム全体の掃除をしています。夕方は作業所から帰つてくる仲間の出迎えをしています。夜、仲間の就寝後は日报を書いて一日を終えます。細かな気配りが必要でとても難しい、本当に奥深い仕事です。

(ニシハマさん・3年目)

### 生活支援員さんへインタビュー



ホームの生活支援員ってどんな仕事???

#### ◆ どのような仕事をしているのですか？

#### ◆ 現在のホームの現状、今後どのようなホームにしていきたいですか？

人生に張りが出たように感じています。子育てが一段落したときに、知人の紹介でこの仕事を出会いました。最初は週一日からスタートしましたが今では週5、6日働いています。いつのまにかもう3年目です。毎日イキイキと楽しく仕事をさせてもらっています。

やつぱり、余暇支援がとても大変です。世話人2人に対し利用者8人（そのうち移動で車椅子が必要な方3人）で、とても買い物など全員で外に出ることができないです。でも利用者さんの声は「買い物いきたい、カラオケ行きたい」等々あります。休みの日でも関係なく7時には皆さん起きられます。一日がとても長いです。家の中でのんびり過ごすだけではストレスも溜まることがあるし、今後はボランティアさんを集めて外に出たりする機会を持ちたいと考えています。作業所の職員の方の協力も借りて実現したいです。



\*ホームに暮らしていて良かった事は？

\*仲間が親切してくれるときに皆と出会えてよかったなーと思います。皆仲良し。

\*休みの過ごし方は？

\*私は土曜日はデイサービスに行ってるけど日曜日はリビングや部屋の中でゆったりしてる。ご飯食べて、休憩して…。ホンマはでかけたいけど世話人さん少ないからしゃあないなー。増やすように上の人に言うて！



\*こんなホームにしてほしいなど願いはありますか！？

\*もういっこホーム作って欲しい。世話人を増やして欲しい。

## ひかり福祉社会ホーム スタッフ募集！

入居者の思いに応えたい！！  
生活を支えるスタッフを募集中！！

- 仕事内容 食事作り 入浴・排泄時の介助  
余暇支援 話し相手など
- 就業時間 シフト制  
(月～金／15時～翌9時)
- 賃金 時給800円(昇給あり)  
深夜、通勤、時間外、期末／各種手当あり

勤務地はご相談に応じます(彦根市 長浜市 米原市)

○まずはお気軽にお問い合わせ下さい○  
社会福祉法人ひかり福祉会 生活支援  
090-7768-6681(担当:出川)



# 社会福祉法人ひかり福祉会 2013(平成25)年度 決算報告

## 2013年度財務状況の分析と情勢所感

ひかり福祉会顧問税理士 谷口良平

### ○ひかり福祉会の財務状況をどう見るか

この数年間の推移を見していく中でまず良い点は、着実に純資産の部が増えていること。そしてそれに伴つて現預金残高が増加していることです。2008年時点での純資産の部の合計は10億3215万9千円であったものが、13億3905万9千円となり、この6年間に約3億円ほどを積み立てております。そうやって積み上げてきたものはもちろん建物などの固定資産などに姿が変わっているため、すべてが現預金として法人に残つてゐるわけはありませんが、着実に内部留保を高め、少しづつ体力を高めていっています。

だからといって将来を見据えた中で十分に安心かとすると、決してそんなわけではありません。社会福祉法人はその性質上経費のうちにおこる人件費割合が非常に高く(およそ64%)、弾力性がありません。一方で現状として収入の多くは国の制度に則つたものであり、仕組みが変わると必ずしも大幅に失われる可能性のあるものです。2013年度のサービス活動費用は年間で約7億円弱にものぼります。ほんの

数%収益が失われるだけで何千万円といった赤字が発生し、その内留保が失われるということです。建物や設備の老朽化が進みつつありますので、より深刻な課題といえます。

### ○社会福祉法人の内部留保問題について

現在社会福祉法人の内部留保について「過大な内部留保は問題では?」という議論が交わされています。これは非常に間違いであると私は考えます。国が支えるべき社会福祉のた

2008年度 貸借対照表

勘定科目		金額	勘定科目		金額	
資産の部	流動資産	236,733	負債の部	流動負債	55,061	
	基本財産	701,763		固定負債	93,270	
	建物	565,403		負債の部合計	148,331	
資産の部	土地	136,360	負債の部	基本金	130,202	
	その他固定資産	241,994		国庫補助金等特別積立金	385,793	
	固定資産計	943,757		その他の積立金	149,349	
	資産の部合計	1,180,490		次期繰越活動収支差額	306,315	
	純資産の部			純資産の部合計	1,032,159	
	資産の部および純資産の部合計			負債の部および純資産の部合計	1,180,490	
	資産の部合計			負債の部および純資産の部合計		
	1,180,490			1,180,490		

2013年度 貸借対照表

勘定科目		金額	勘定科目		金額	
資産の部	流動資産	370,281	負債の部	流動負債	88,201	
	基本財産	773,825		固定負債	70,283	
	建物	607,921		負債の部合計	158,489	
資産の部	土地	165,904	負債の部	基本金	130,202	
	その他固定資産	353,443		国庫補助金等特別積立金	449,107	
	固定資産計	1,127,268		その他の積立金	234,088	
	資産の部合計	1,497,549		次期繰越活動収支差額	525,663	
	純資産の部			純資産の部合計	1,339,060	
	資産の部および純資産の部合計			負債の部および純資産の部合計	1,497,549	
	資産の部合計			負債の部および純資産の部合計		
	1,497,549			1,497,549		

### ○事業収支計算書について

サービス活動収入は前年7億400万3千円が今年6億9945万5千円となり、対前年99.35%で多少減額しています。ほぼ横ばいとは言え、収入は利益を出すための原資ですから、これが減少するということはあまり好ましいことではありません。就労支援事業収益が269万7千円増

めの事業が近年の法改正により(国財政都合により)大幅に圧縮されました。法人は自立生存を余儀なくされ、本来国が果たすべき責任の一部が法人に押しつけられるような形で、内部留保の充実をはかる必要が生じたのです。そして職員一人一人が身を削ぎ、内部留保を生み出してきたのです。それを今になって「内部留保は問題だ」というのは本末転倒です。

しかし現実は現実。一方で声をあげつつ、また一方ではそんな現実があるからこそ外部環境に振り回されない、より強い組織作りが求められます。社会福祉法人としての存在意義に立ち返り、利用者の皆さんのがんのスキル向上による就労支援を実現するソーシャルビジネスとして収益を確保し、それとともに社会福祉事業を支えていく。そのような事業経営の確立が一刻を争う喫緊の課題であるといえます。

事業活動計算書(形状増減差額まで)

単位:千円

勘定科目		2013年度	2012年度	差額
サービス活動増減	収益計	699,455	704,003	-4,548
	就労支援事業収益	107,244	104,547	2,697
	障害福祉サービス	587,293	596,744	-9,451
	ほか	4,918	2,712	2,206
	費用計	699,327	686,696	12,631
	人件費	432,129	427,243	4,886
	事業費・事務費	140,196	142,597	-2,401
	就労支援事業費用	109,240	103,763	5,477
	ほか	17,762	13,093	4,669
	サービス活動増減差額(A)	128	17,307	-17,179
増活サービス	収益計	14,843	15,275	-432
	費用計	3,274	3,065	209
減外ス	サービス活動外増減差額(B)	11,569	12,210	-641
	経常増減差額【(A)+(B)】	11,697	29,517	-17,820

り回されない、より強い組織作りが求められます。社会福祉法人としての存在意義に立ち返り、利用者の皆さんのスキル向上による就労支援を実現するソーシャルビジネスとして収益を確保し、それとともに社会福祉事業を支えていく。そのような事業経営の確立が一刻を争う喫緊の課題であるといえます。

活動としては12万8千円の利益を出しています。かろうじて利益は出ているものの、収入全体のほんの0.02%だけしか利益として残っていないということです。から、利益はほとんど出ていないと見て差し支えありません。サービス活動外で収支がプラスになっているため経常収支差額としては1169万7千円になりますが、やはり通常のサービス活動において、どれだけの利益を確保するかが今後の課題となつてまいります。

そんな中で最終的にサービス活動としては12万8千円の利益を出しています。かろうじて利益が547万6千円増加しており、結果として就労支援事業による収益増加にはいたつております。そのため最終的にサービス活動としては12万8千円の利益を出しています。かろうじて利益は出ているものの、収入全体のほんの0.02%だけしか利益として残っていないということです。から、利益はほとんど出ていないと見て差し支えありません。サービス活動外で収支がプラスになっているため経常収支差額としては1169万7千円になりますが、やはり通常のサービス活動において、どれだけの利益を確保するかが今後の課題となつてまいります。

## 資金収支計算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

## 事業活動計算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位:円)			
	勘定科目	予算(A)	決算(B)
事業活動による収支	就労支援事業収入	106,867,000	107,244,447
	障害福祉サービス等事業収入	584,889,000	587,293,023
	経常経費寄附金収入	4,510,000	4,918,103
	受取利息配当金収入	0	17,747
	その他の収入	14,187,000	14,825,407
	事業活動収入計(1)	710,453,000	714,298,727
	人件費支出	432,968,000	428,829,213
	事業費支出	64,832,000	69,204,732
	事務費支出	90,941,000	70,990,683
	就労支援事業支出	103,145,000	106,729,065
施設整備等による収支	支払利息支出	834,000	595,682
	その他の支出	0	2,296,350
	事業活動支出計(2)	692,720,000	678,645,725
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	17,733,000	35,653,002
	施設整備等補助金収入	10,330,000	10,230,000
	固定資産売却収入	0	40,000
	施設整備等収入計(4)	10,330,000	10,270,000
	設備資金借入金元金償還支出	8,267,000	8,267,000
	固定資産取得支出	41,849,000	44,335,483
	施設整備等支出計(5)	50,116,000	52,602,483
その他の活動による収支	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲39,786,000	▲42,332,483
	積立資産取崩収入	10,149,000	13,260,530
	その他の活動収入計(7)	10,149,000	13,260,530
	長期運営資金借入金元金償還支出	740,000	740,000
	積立資産支出	17,922,000	14,373,434
	その他の活動による支出	0	44,000
	その他の活動支出計(8)	18,662,000	15,157,434
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	▲8,513,000	▲1,896,904
	予備費支出(10)	0	0
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	▲30,566,000	▲8,576,385
前期末支払資金残高(12)			
当期末支払資金残高(11)+(12)			

(単位:円)			
	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)
サービス活動増減の部	就労支援事業収益	107,244,447	104,546,699
	障害福祉サービス等事業収益	587,293,023	596,744,174
	経常経費寄附金収益	4,918,103	1,764,162
	その他の収益	0	948,000
	サービス活動収益計(1)	699,455,573	704,003,035
	人件費	432,129,174	427,242,537
	事業費	69,204,732	59,582,866
	事務費	70,990,683	83,013,905
	就労支援事業費用	109,239,641	103,762,890
	減価償却費	40,231,802	31,818,908
サービス活動外増減の部	国庫補助金等特別積立金取崩額	▲22,469,713	▲18,725,590
	微収不能額	0	0
	サービス活動費用計(2)	699,326,319	686,695,516
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	129,254	17,307,519
	借入金利息補助金収益	0	1
	受取利息配当金収益	17,747	10,952
	その他のサービス活動外収益	14,825,407	15,264,712
	サービス活動外収益計(4)	14,843,154	15,275,665
	支払利息	595,682	832,600
	その他のサービス活動外費用	2,679,389	2,233,000
特別増減の部	サービス活動外費用計(5)	3,275,071	3,065,600
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	11,568,083	12,210,065
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	11,697,337	29,517,584
	施設整備等補助金収益	10,230,000	17,480,000
	施設整備等寄附金収益	0	803,000
	固定資産売却益	40,000	700,000
	その他の特別収益	0	0
	特別収益計(8)	10,270,000	18,983,000
	固定資産売却損・処分損	3	29,293
	国庫補助金等特別積立金積立額	10,230,000	35,160,413
繰越活動増減の部	災害損失	0	0
	その他の特別損失	67,619,777	0
	特別費用計(9)	77,849,780	35,189,706
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	▲67,579,780	▲16,206,706
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	▲55,882,443	13,310,878
	前期繰越活動増減差額(12)	578,975,329	560,950,593
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	523,092,886	574,261,471
	基本金取崩額(14)	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	13,260,530	18,201,911
	その他の積立金額(16)	10,690,434	13,488,053
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)			

## ひかり福祉社会及び事業所へのご寄付ありがとうございました【寄付金・物品等】

(平成26年4月1日～26年8月31日 敬称略 順不同)

## 寄付物品

居林 浩	今村 金吾	奥村 佐生利	押谷 治郎	尾田 文敬	禿 正孝
河端 恵	北村 美保	木村 浩	上坂 千鶴	小島 裕一	坂口 景子
崎 幸一	柴谷 正美	柴田 美和子	下野 修二	下村 英史	谷利 啓子
田中さぎ美	谷田みさ江	丹部 正道	富田 晃夫	中川由紀子	長澤 政弘
中島知子	中原 優佑	西浦 正和	長谷川丈篤	樋口 高年	疋田 憲治
疋田 弘	疋田 藤男	福戸 康介	藤野 信敏	古川 敏	堀田 博道
堀田 博行	前田 真理子	松本 龍興	三原婦二子	三輪 昌宏	村田 初江
村田日里美	森岡 保	山田 恵理子	山本まどか	匿名	

開成建設株式会社 (株)ジョイント 滋賀県立甲良養護学校

滋賀大学生団体enactus 社会福祉法人ともえ会 トップ・ワン豊郷店

梨農園(宇野) 彦根市社会福祉協議会 彦根市城陽学区民生児童委員協議会

フタバヤ近江店 連覚寺

## 寄付金

川瀬 源信 匿名 2名

## 編集後記

■障害の有無とは無関係に、就労を通して社会参加することは、単に収入を得るためだけでなく、成就感や達成感等の生きがいを実感するうえでとても大切なこと。障害のある方の就労支援を進めていく時に、障害のある方が「働く」ということにどういう思いをもついているかを大切にする必要がある。その思いは多様であり、多くの働き方があり、各々に応じた支援の在り方がある。目の前にいる人のニーズは何か、課題は何か、そしてどんな支援が必要なのか、共に考え、寄り添い、向き合っていきながら、障害のある方の「働きたい」という想いの実現に向け、応援していきたいと思う。

## ◇就労移行支援・就労継続支援B型・生活介護◇

ひかり園 輝湖里 ひので作業所  
 友愛ハウス ワークセンター絆  
 たんぽぽ作業所 セルフひこね  
 HEART WORK 結 工房ふれっしゅ  
 彦華堂

## ◇グループホーム◇

長浜かざぐるまホーム 長浜里の家  
 米原螢の家 ひこねたんぽぽホーム  
 ひこね芹川ホーム ひこね七里ホーム  
 ひこねひまわりホーム ひこねわたぼうしホーム

## ◇日中一時支援・短期入所◇

ひかり園 ひので作業所 ショートステイとまと

## ◇相談支援・計画相談・就労支援◇

障害者支援センターそら  
 働き・暮らしコト支援センター  
 相談支援センターあおい